

タンデム型人工リーフの採用によりコスト縮減

工事名：皆生海岸富益2号潜堤（皆生海岸富益2号潜堤第1工事他）

概要：（従来）
人工リーフ

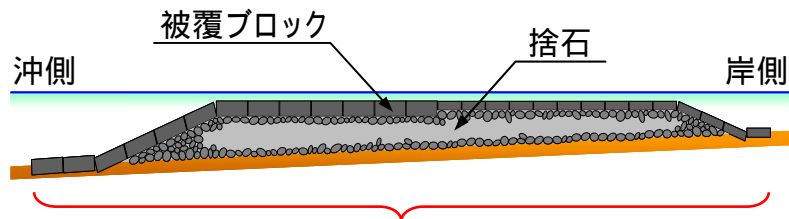
（新）
タンデム型人工リーフ

効果：

別途工事（皆生施設改良）で発生する消波ブロックを再利用可能な構造に見直し

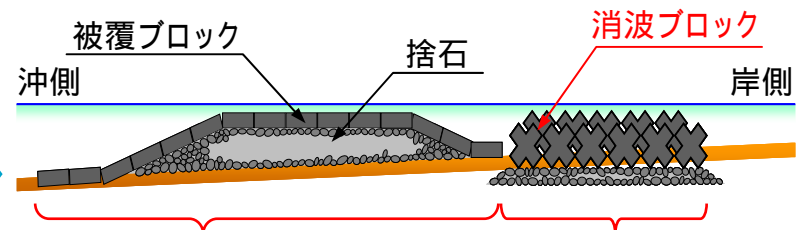
- ・ 皆生施設改良第4工事 運搬費が低減しブロックの小割り手間が不要となったことにより349百万円から318百万円に減額（縮減額 31百万円 縮減率 約9%）
- ・ 富益2号潜堤第1工事 タンデム型の採用と消波ブロックの流用でブロック個数等が低減し106百万円から96百万円に減額（縮減額 10百万円 縮減率 約9%）

（人工リーフ）



富益2号潜堤(当初計画形状)

（タンデム型人工リーフ）



富益2号潜堤第1工事 皆生施設改良第4工事
(消波ブロックを流用)